

アナンダ・ジェイコブズさんからのメッセージ

カラ・ハリソンを演じた経験をさせて貰えた事を、心からとても感謝しております。

今までの中で一番大きな、日本語で演じる映画プロジェクトでした。女優としてはもちろん、色々なチャレンジもありましたし、個人的に宝物となる時間でしたが、それよりも、この役、このストーリーを通して、大切な思いも確かめたりできて貴重な経験となりました。

早速ですが、この世の中、全てが愛で繋がっていると思います。どのレベルでも、どの時代でも、個人から個人まで、そしてもっと広がって、心から運命、もっと言うと魂から宇宙まで繋がっています。

今、各世代、各個人が困難に直面しています。しかし、それにも関わらず意味のある人生を送るためには、自分の中に力を見つけなければなりません。この人生でできる事は必ずあるわけです。自分自身や他の人にとって価値のある体験をする可能性があります。

困難やチャレンジは、あくまで機会です。どの機会かと言えば、その宇宙、愛を、再び繋がる事を思い出して、自分自身より大きなものを改めて感じる事です。

ハリソンの場合は、障害にはまず言語、そして自己犠牲的に一人で子育てする事、その上に何があっても文化的に「よそ者」として認識される事もありましたが、娘への愛情は揺るがないものでした。そして自分を信じる女の子を育てることに専念しました。その感情を、一人でも植え付ける事ができれば、ハリソンのように人生は生きる価値があるわけです、と私を感じました。

私達は、出来る事をするしかありません。いつも、出来る事をすべきです。そうしないと、生きる意味が無いでしょう？ハリソンの場合は、チャリティー、文化を超えて理解、純粋な愛と献身など。この存在で、手に負えない事がたくさんありますが、決して諦めない事が大事。どんな人でも、どんな人生になるかはわかりません。でも目の前の状況を制御するには忍耐が必要なのです。

ハリソンの背景であるキリスト教は、赦しや献身について語っています。私自身はクリスチャンとして育てられていなかったですが、自分よりも遥かに大きな、そしてこの次元やこの体より大きな、深いエネルギーの流れを感じる人だと思っています。赦しは、ただ言われたから相手を許すことだけではなく、自分の中や、人生の状態を受け入れる。そこから力を見つけれられるからです。

この信念はカラ・ハリソンとして完全に一致し、彼女の回復力、堅実さ、そして穏やかな情熱を感じさせてくれました。

その時代にはみんな多くの選択肢がなかった上に、暗いような存在を生きってしまうイメージがあるかも知れませんが、ハリソンにはその暗さを感じてはいなかったです。もちろん辛い時もありましたが、自分よりも大きなパワーとの繋がりを壊さずに、最後まで前向きに。深い愛が決して無駄にならない信頼もありました。

この映画は難しいシーンもありましたが、その大きな気持ちのおかげで出来たと思います。ハリソンの目線から、エンジェルを感じたり、そしてある意味で周りのすべての人生に恋を感じました。他の人の善と、暗い状況での光を見るきっかけでした。

感情的なシーンのために、色々な感情を拝見しました。自分の中に後悔、心の痛みなども、彼女の気持ちを理解するために、そして演じるために。そう伝わるかどうか、望みますが、少なくとも女優として深い練習、そして経験にもなりました。

演じるには、格好をつけるより、レイヤーをなくしたり、リアルに感じるようにする練習をしました。例えば、「今から泣く」という考えが全くなくて、ただその複雑な感情の渦を心の中に作り上げたおかげで、自然に涙が溢れました。私よりもっとプロの人は、これは当たり前かも知れないですが、今回は私にとって一つの特別な経験でした。

頭だけではなく、感情をしっかりと受け入れれば、自分や役の違いがなくなってきました。手に負えない状況をコントロールしようとしているのに、最終的には降伏しなければならない事が充分にわかってくる事実があります。

この映画プロジェクトの途中で改めてそのような気づきがありました。誰も死をコントロールできないし、全員が何らかの形で失敗したのか、機会が無駄になった事もある。しかし、他の世界、エネルギーベースな次元の存在もあります。キリスト教では、「神様」や天使と呼ばれるが、私にとって永遠の愛とつながりの感覚です。しかし、そのより高いつながりの感覚は、ちゃんと感じると、すべての宗教を超越するものです。

人生の波をコントロール出来ないですが、それに圧倒されて落ち込んでしまうのか、違いを生むためにここにいると信じ、世界にプラスの影響を残すのかは選ぶ事ができます。

私たちは互いに助け合う為にここにいます。

すべてが愛の為です。感じる事、永遠に保つ事、その愛。みんなが繋がっている事を思い出すと、誰しもの美しさを簡単に見ることができます。時代や場所、死を超えて、繋がっています。

From アナンダ・ジェイコブズ